Press Release

報道関係各位

2025 年 5 月 29 日
株式会社ナック ／ 証券コード 9788

【6 月 4 日は虫の日】

飲食店経営者を対象にした害虫対策に関する調査
約 3 分の 1 の飲食店が、害虫によるクレーム等のトラブルを経験

《“暮らしのお役立ち企業”株式会社ナックが実施》

業務用の害虫駆除システム「with（ウィズ）」を展開する株式会社ナック（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：吉村 寛）は、6 月 4 日「虫の日」※に合わせて、全国の飲食店経営者・飲食店店舗責任者 400 名を対象に「飲食店の“虫”対策 実態調査 2025」を実施しました。本調査では、飲食店の 34.5%が害虫によるトラブルを経験しており、そうでない飲食店に比べて外部業者や害虫駆除システムを活用している割合が高いことが明らかになりました。

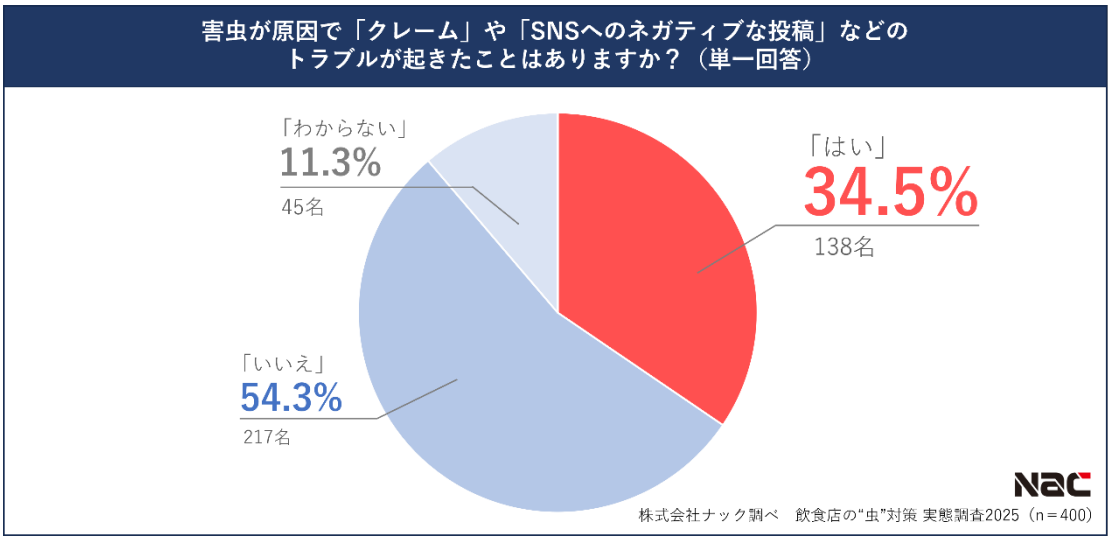
※「虫の日」は、漫画家・手塚治虫氏らが中心となり設立した「日本昆虫クラブ」が制定した記念日。

【調査結果のポイント】：飲食店の“虫”対策　実態調査 2025

1. 飲食店の約 35%が、害虫によるクレームや SNS へのネガティブ投稿などのトラブルを経験
2. 飲食店で最も実施されている害虫対策は、「市販の殺虫剤・忌避剤」の使用。
   害虫トラブルを経験した飲食店の約 75%が「外部業者の点検」や「害虫駆除システム」を活用
3. 現在実施している害虫対策で「充分である」と言い切れる飲食店はわずか約 15%。
   害虫トラブルを経験した飲食店は「充分である」「ある程度充分である」との回答が約 60%と、対策に注力

【調査概要】
■調査期間：2025 年 5 月 19 日（月）～5 月 23 日（金）　■調査方法：インターネット調査
■調査対象：20 代以上の全国の飲食店経営者、もしくは店舗責任者 400 名に依頼し、本調査を実施
※調査結果をご紹介いただく際は、「**株式会社ナック調べ**」と注釈をご記載ください。

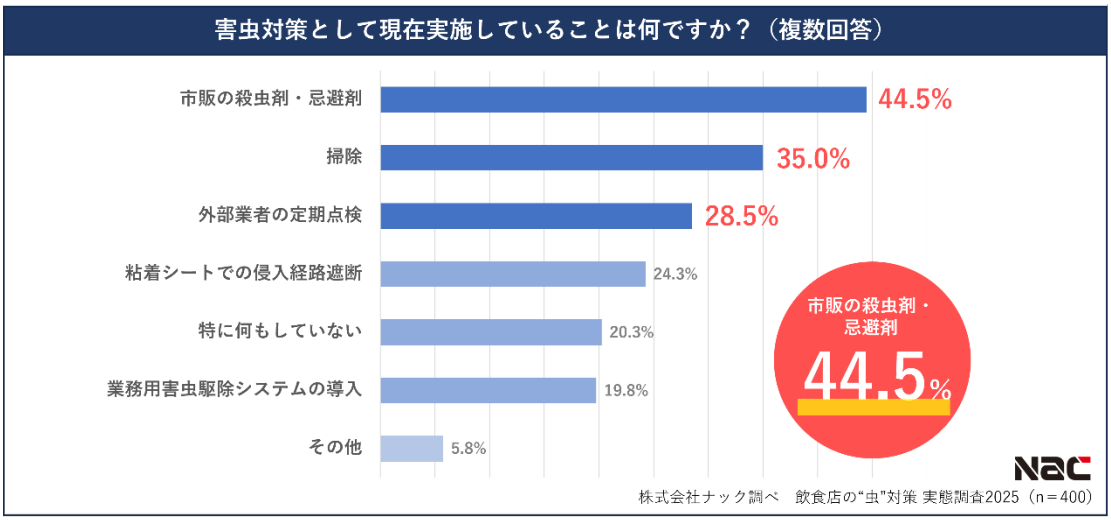
1．飲食店の 34.5%が、害虫によるクレームや SNS へのネガティブ投稿などのトラブルを経験



害虫が原因で「クレーム」や「SNS へのネガティブな投稿」などのトラブルが起きたことがあるか聞いたところ、34.5%が「はい」と回答しました。およそ 3 店に 1 店が害虫によるトラブルを経験していることになります。

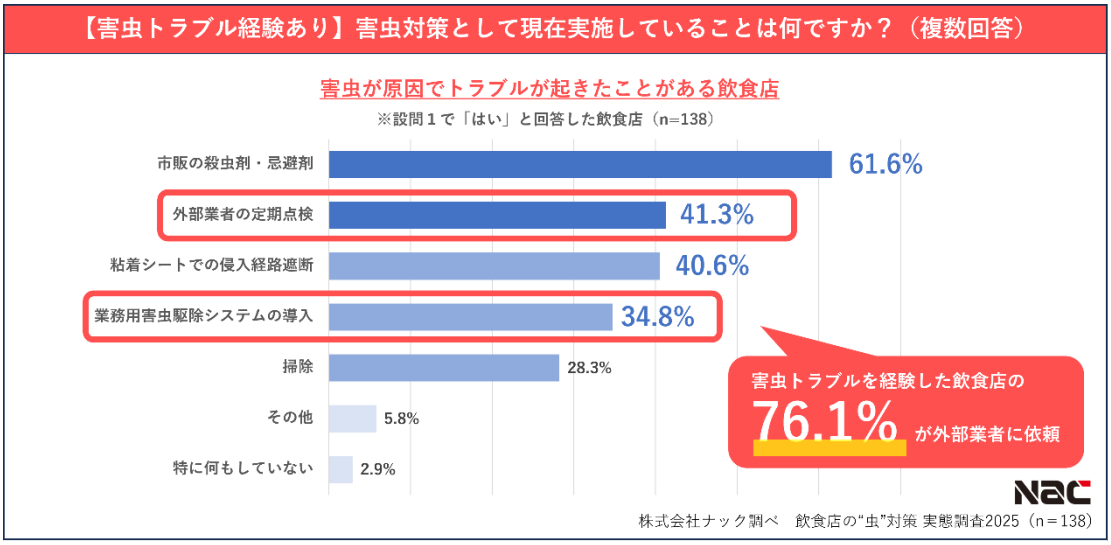
【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社ナック　IR・広報室　　担当：加藤
TEL：03-3346-2870　/　FAX: 03-3348-4311　MAIL：irpr@nacoo.com

2. 飲食店で最も実施されている害虫対策は、「市販の殺虫剤・忌避剤」の使用。害虫トラブルを経験した飲食店の 76.1%が「外部業者の点検」や「害虫駆除システム」を活用



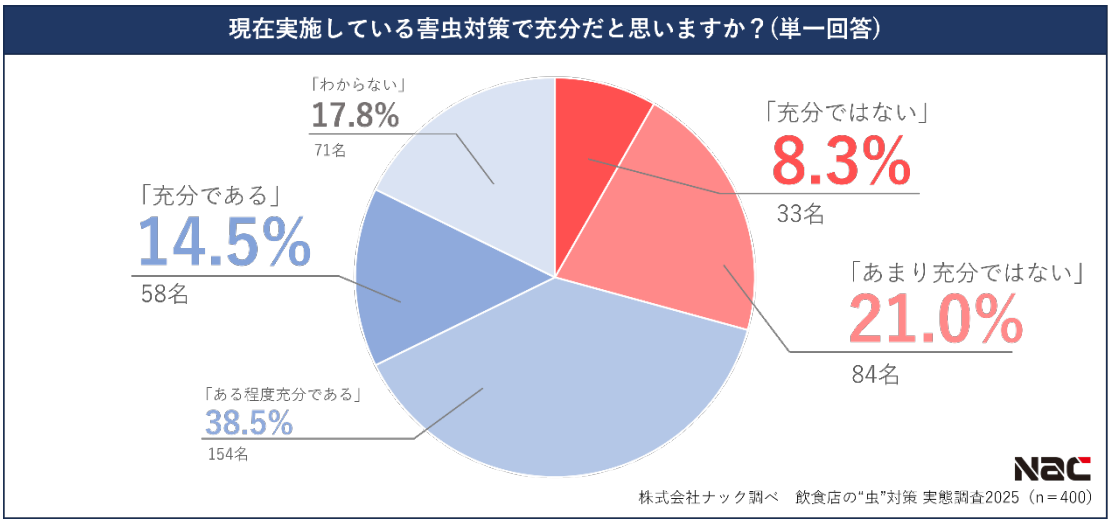
現在実施している害虫対策を聞いたところ、44.5%が「市販の殺虫剤・忌避剤」を使用していると回答しました。ホームセンターなどで低コストかつ手軽に手に入り、使用も簡単な殺虫剤・忌避剤で対策をしている飲食店経営者・店舗責任者が多いようです。そのほか、「掃除」が 35.0%、「外部業者の定期点検」が 28.5%となりました。

また、設問 1 で"害虫によるトラブルの経験がある"と回答した飲食店は、そうでない飲食店に比べて、「外部業者の定期点検」(41.3%)や「業務用害虫駆除システムの導入」(34.8%)などプロに依頼している割合が高いことがわかりました(計 76.1%)。また「粘着シートでの侵入経路遮断」も 40.6%が実施していました。



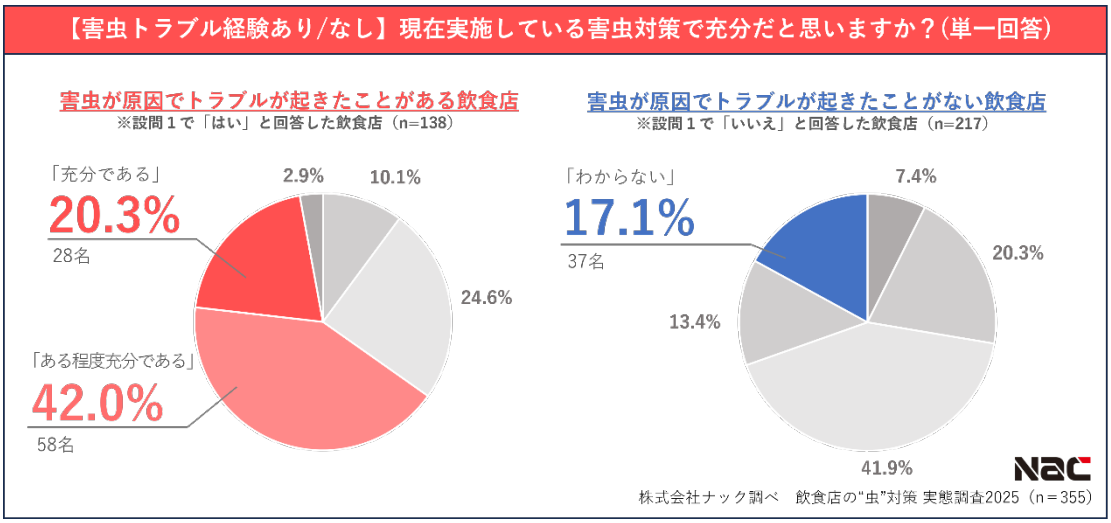
【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社ナック　IR・広報室　　担当：加藤
TEL：03-3346-2870　/　FAX: 03-3348-4311　MAIL：irpr@nacoo.com

3. 現在実施している害虫対策で「充分である」と言い切れる飲食店はわずか 14.5%！害虫トラブルを経験した飲食店は「充分である」「ある程度充分である」が約 60%と、対策に注力



回答者自身の飲食店で実施中の害虫対策について、「充分である」と回答した飲食店経営者・店舗責任者は 14.5%に留まりました。「ある程度充分である」との回答は 38.5%にのぼりましたが、一方で「充分ではない」(8.3%)「あまり充分ではない」(21.0%)と答えた飲食店経営者・店舗責任者も合計 29.3%を占め、飲食店の多くは対策が「充分である」と言い切れるほど、満足のいく害虫対策ができていないことがわかります。

また、設問 1 で"害虫によるトラブルの経験がある"と回答した飲食店は、そうでない飲食店に比べて、自身の店舗の害虫対策が「充分である」「ある程度充分である」と答えた割合が高いことがわかりました(計 62.3%)。一方、トラブルの経験がない飲食店は「わからない」と答えた割合が高く(17.1%)、トラブル経験がある飲食店のほうが害虫対策に力を入れていることが予測できます。



【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社ナック　IR・広報室　　担当：加藤
TEL：03-3346-2870　/　FAX: 03-3348-4311　MAIL：irpr@nacoo.com

＜アンケート結果より＞

今回の調査結果を受けて、飲食店の多くが害虫対策を行っているものの、不十分だと思っていることが明らかになりました。実際に約 35%の飲食店が害虫によるトラブルに見舞われており、危機感を持つ飲食店が多いことが分かります。飲食店が実施する害虫対策は「市販の殺虫剤・忌避剤」が最多でしたが、害虫トラブルを経験した飲食店は「外部業者の定期点検」「業務用害虫駆除システムの導入」など、プロに依頼する割合が高い結果となりました。

これからの梅雨の時期は、一年で最も害虫が活発化する季節。店内で見かける機会もグッと増えますので、今一度害虫対策を見直してみてはいかがでしょうか。

＜害虫駆除のプロに聞く、飲食店における“害虫駆除のポイント”＞

株式会社ナック レンタルビジネスカンパニー
ウィズ事業部 住之江オフィス店長　磯谷　幸一郎

「ここでは、飲食店最大の悩みであるゴキブリに焦点を当て、駆除のポイントをお伝えします。

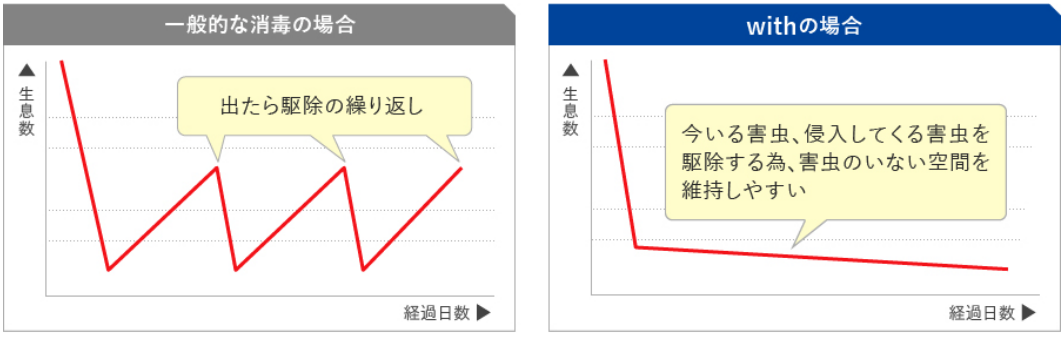
ゴキブリの卵は殺虫剤や燻煙剤を使っても防げず孵化することも多く、メスのゴキブリ 1 匹から 5 か月で約 320 匹もの子供が生まれます。そのため、駆除業者などにより現在生存するゴキブリを駆除しても、卵から孵化したり、外部からの侵入を防ぐことは難しく、元の状態に戻ってしまう可能性が高いのです。ゴキブリが生息しにくい環境をつくるためには、ゴキブリが目につく・つかないに関わらず、こまめな定期駆除を繰り返すことが重要です」

《市販品の効果的な使い方》

	燻煙剤	ベイト剤（設置型）	エアゾール剤スプレー
効果的な使い方	定期的に使用 （週2回ほど）	空間に複数設置	残留性・持続性の高い タイプを直接噴射
デメリット	ランニングコストが かかる	使用期限を過ぎて 放置するとゴキブリの 巣になる可能性あり	使用できない場所が あるため注意

「厚生労働省の承認を得た国内初※の医薬品『with』は、ゴキブリの特性を考え、毎週 2 回、6 時間の稼働を自動的に繰り返す独自の駆除システムを採用。オートタイマーを設定すれば、閉店後の無人の時間帯に自動で薬剤を散布できるため、飲食店経営者・店舗責任者の方々の手間を増やすことなく対策が可能です」

※日本で初めて薬剤（ベーパーセクト S）と機械の一対で
厚生労働省（旧厚生省）から承認（承認年月日：平成 7 年 6 月 8 日（07AP）第 0380 号）



※あくまでもイメージです　※当社比

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社ナック　IR・広報室　　担当：加藤
TEL：03-3346-2870　/　FAX: 03-3348-4311　MAIL：irpr@nacoo.com

－ 補足資料 －

■株式会社ナックについて https://www.nacoo.com/

当社は、1971 年に株式会社ダスキンのフランチャイズ加盟店として創業して以来、「暮らしのお役立ち」を軸として、積極的な事業領域の拡大を行ってまいりました。2021 年には創業 50 周年を迎え、現在ではダスキン事業を中核とするレンタル事業に加え、宅配水事業を展開するクリクラ事業、地場工務店の経営支援を行う建築コンサルティング事業、住宅事業、美容・健康事業と、「暮らし」と「住まい」に関わる幅広い領域において全国のお客様とダイレクトにつながりを持ち、さらなる成長を続けております。

《事業一覧》

クリクラ事業	：	宅配水「クリクラ」、浄水型ウォーターサーバー「feel free（フィールフリー）」及び次亜塩素酸水溶液「ZiACO（ジアコ）」の製造・販売
レンタル事業	：	ダストコントロール商品、介護用品及び福祉用具のレンタル・販売、害虫駆除器のレンタル・販売、定期清掃業務及び原状回復工事業務
建築コンサルティング事業	：	地場工務店に対する建築関連ノウハウ商品及び建築部資材の販売と施工、コンサルティング業務並びに住宅フランチャイズ事業
住宅事業	：	戸建注文住宅の建築請負、分譲住宅の販売及びそれに付随する金融業務
美容・健康事業	：	化粧品・健康食品の製造・販売、美容材料・医薬品等の販売
新たな取り組み	：	戸建注文住宅に付随する金融業務、洋酒等の輸入・販売、韓国食品等の輸入・販売

■ウィズ事業について https://www.nac-with.com/service/with/index.html

飲食店をはじめとする店舗・施設向けのレンタルサービスとして、1988 年にスタートしたオリジナルブランドの業務用害虫駆除機です。薬剤メーカーと提携して開発した薬剤ベーパーセクトと機械本体の一対で高い駆除率を誇り、医薬品認証を受けているため用法容量を守ることで安全性も高い商品です。当社は全国に 279 社（※）の代理店を抱える代理店本部として、多くの飲食店や店舗、販売代理店に提供しています。

このほか、エアコンを空気清浄機に早がわりさせる「BeClean フィルター」や、水道光熱費の削減に役立つ「bubble90」など、お店や施設の環境に合わせ、クリーンな空間をつくるためのご提案を行っています。

※ 2025 年 3 月末時点

《害虫駆除システム「with」の使用薬剤について》

承認番号（薬剤ベーパーセクト）：21700APZ00812000（2005 年 9 月 6 日）
承認番号（薬剤ベーパーセクトとファン付殺虫機一対）：07AP 第 0380 号（1995 年 6 月 8 日）
薬剤名 ： ベーパーセクト S ［第一類医薬品］
成分名 ： ジクロルボス（DDVP）
安全性 ： 万が一吸引してしまった場合でも、肝臓で速やかに代謝され、腎臓から排泄されます。
この場合加水分解酵素により、急速に解毒される事がわかっています。

■株式会社ナック　会社概要

社名	：	株式会社ナック
設立年	：	1971 年 5 月 20 日
資本金	：	6,729,493,750 円
代表者	：	吉村 寛
社員数	：	連結 1,717 名 （2025 年 3 月末現在）
本社所在地	：	東京都新宿区西新宿 1-25-1　新宿センタービル 42 階
電話番号	：	03-3346-2111（代表）

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社ナック　IR・広報室　　担当：加藤
TEL：03-3346-2870　/　FAX: 03-3348-4311　MAIL：irpr@nacoo.com